

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2024 年報告書

学校名・施設名等 雲南市立 鍋山小学校

担当者 坂野 夏

対象河川名 三刀屋川 実施時期 秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 5年生 〔参加者数〕 秋調査 8人

【秋の調査】2024.9.10 〈天気〉晴れ 〈気温〉32℃ 〈水温〉26℃

〈一番多かった指標生物〉ヒラタドROMシ15 〈水のきれい度〉ややきれいな水

〈その他の生物〉カワゲラ4、オオシマトビケラ2、
タニカワカゲロウ5、ヒゲナガカワトビケラ1、
サナエトンボ1、ヒル類1、トビイロカゲロウ1
など

〈水辺の様子〉

水害の被害(令和3年)を受け、一部護岸工事されており、流れや地形に変化があるものと思われる。

川岸には、草が生い茂っている。今回の調査のために、学校で刈ってもらった。

水かさは、深いところだと1m程度、浅いところで数cmとなっている。



子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

○三刀屋川は、どんな川なのだろうと思っていただけ、今回の調査を通して、「きれい」「ややきれい」な川だと分かった。

○今回の調査で、大きなドジョウを捕まえて、こんなに大きなドジョウがいて驚いた。

○ごみを捨てない、ポイ捨てしないという気持ちをもつことができた。

○透視度調査をして、1m以上という結果だった。すごくきれいだと分かった。

○きれいな川を守っていきたいと感じた。

など多くの感想が振り返り用紙や授業の中で出ました。

担任としても、児童の「三刀屋川はきれいだろう」というぼんやりした認識が、透視度やCOD、指標生物などの調査によって数値として、分かったことはよかったと感じています。